

# 令和4年度 経済部 施策展開方針 計画書

## 1. まちづくり政策(経済部関係分)

政策 02	<b>政策展開の方向性</b>
産 業	<p>地域における活発な産業活動は、雇用を創出して活気のあるまちをつくります。 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を活かした都市型農業の推進、地域の特性を活かした産業間連携や産学官連携等による商工業の振興、地域資源の掘り起しと磨き上げによる観光振興などによって、地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。</p>
<b>令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>	
02-01 都市型農業の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続的で安定性の高い農業経営を実現するため、関係団体と連携した担い手の育成や、国・道の制度を活用した新規就農者への支援、農地の集積等に取り組みます。そのため、令和4年度は、道央農業振興公社やJA道央等と連携した担い手の育成や、国・道の制度を活用した各種支援を行います。</li> <li>・市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、それらの域内消費、市外への販路拡大を推進するため、江別産農畜産物のブランド化・イメージアップ化に取り組みます。そのため、令和4年度は、地域のブランド品を維持・拡大するための取組や、都市と農村の交流センター(えみくる)内のテストキッチンを活用して、加工新商品開発等の支援を行います。</li> <li>・農業生産基盤の安定・向上や、近年増加傾向にある鳥獣による農業被害の低減のため、農業生産基盤の計画的な整備や鳥獣被害対策の強化に取り組みます。そのため、令和4年度は、国・道事業の活用による排水路改修等の基盤整備の推進や、鳥獣被害防止に向けた取り組みを行います。</li> <li>・農業者と消費者との交流や食育活動等の実施により、地産地消を推進します。そのため、令和4年度は、都市と農村の交流センター(えみくる)等を活用して、小中学生を対象とした食育事業や都市と農村の交流事業を行います。</li> </ul>	
02-02 商工業の振興	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における海外需要の取り込みを目指し、市内食関連事業者の海外販路開拓を支援します。そのため、令和4年度は、海外バイヤーとの商談会やワークショップの開催、外国人向けPR動画等を活用したプロモーションを実施します。</li> <li>・企業誘致の促進と既存企業の事業継続への支援を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の場の創出を図ります。そのため、令和4年度は、市内におけるテレワーク環境の整備と、サテライトオフィス誘致を推進するための2つの補助金を創設するとともに、江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助制度やえべつみらいビル、RTNパークのPR活動に力を入れ、引き続き企業の立地を推進します。また、今後の工業用地の確保については、立地する企業の動向を見極めながら、未利用の民間所有地の情報把握に努めます。</li> <li>・市内に立地する企業の連携を通して事業拡大につなげるため、市ホームページに掲載している「企業PRガイド」によって情報発信を行います。また、引き続き企業を訪問するなかで掲載企業数の拡大を図ります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化した中小企業の経営の安定性を高め、生産力向上により地域経済の活性化を図るため、令和4年度は、江別商工会議所や金融機関と連携した各種融資制度を運営するとともに、市内企業・団体による経済活性化のためのイベント開催、研修・研究活動などを支援します。</li> <li>・高齢化の進展など社会情勢の変化や地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進め、地域住民の利便性の向上や地域社会(コミュニティ)活動の拠点としての機能の向上を図るため、補助金の活用等に係る周知活動や個別相談のサポートなどを通じ、多様な主体の参入を促します。</li> <li>・就業機会の確保や職務能力向上に向けた支援を行い、市内企業が必要な人材を確保でき、求職者が希望に沿った就労ができる状態を目指します。令和4年度は、総合型就労拠点施設「江別まちなか仕事プラザ」を活用し、女性・シルバー世代を中心とする求職者と江別市内企業のマッチングを行います。また、求職者向けセミナーと合わせて企業の採用担当者向けセミナーを行うことで、求人企業・求職者の両面からの就労支援を行います。</li> </ul>	

## 02-03 観光による産業の振興

江別市観光振興計画に基づき、観光資源を活かした魅力づくり、魅力を伝える観光プロモーションなど、観光まちづくりを推進し、江別の観光振興を図ります。そのために、令和4年度は引き続き目標の実現に向けて、次の取組を実施します。

- ・令和3年10月に法人化したえべつ観光協会が、観光推進体制の中心的役割を担い、柔軟な発想により当市が持つ観光資源を有効に活用しながら自らの組織強化及び自走化に向けた取組が進められるよう、補助金の交付、市との連携強化、地域おこし協力隊・地域プロジェクトマネージャーの活用等により支援します。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて着地型観光を推進するため、少人数単位で周遊できる仕組み作りとして、令和3年度に試行したレンタサイクル事業を本格実施するほか、謎解き周遊イベント、観光イラストマップの発行などをえべつ観光協会とともに取り組みます。
- ・市民・事業者の観光意識の醸成のための観光セミナーを開催します。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンラインとするなど感染対策を踏まえた実施方法を検討します。
- ・食や農、歴史あるれんがやきものを持つ観光資源としての魅力・認知度を向上させるため、プロモーションイベントの開催、江別アンテナショップGET'S及び市民交流施設における観光案内、えべつ観光協会との連携等による観光情報の発信強化を図ります。
- ・広域観光の推進のため、加盟するさっぽろ連携中枢都市圏観光協議会での取組(札幌市内での圏域市町村観光情報発信、圏域観光HPの作成等)や近隣市町村で作成する子ども向けスポット紹介冊子(こどもパスポート)の発行等を行います。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標
農産物等販売実績(JA道央江別市分のみ)	百万円	4,521	4,782	4,974	5,304	↗
製造品出荷額等	百万円	85,201	95,607	95,505	96,846	↗
観光入込客数	人	768,000	1,353,315	1,190,090	1,361,201	↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
1経営体あたりの平均経営面積	a	1,409	1,774	1,769	2,101	↗
えべつの農産物加工品認定数	件	0	11	12	10	↗
農村環境の保全に取り組む団体数	件	7	9	9	9	↗
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000	614,959	596,862	545,905	↗
「企業誘致推進事業」 誘致により立地した企業・事業所数	社	0	1	1	2	↗
「企業立地等補助金」 補助金交付件数(累計)	件	22	32	34	35	↗
「商工業活性化事業」 補助金の活用件数	件	31	4	10	5	↗

政策 04  安全 ・ 安心	<b>政策展開の方向性</b>						
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。						
	<b>令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>						
	04-01 安全な暮らしの確保						
	・消費者被害に遭わない安心して暮らせる社会を目指します。そのため、令和4年度は、消費者からの相談に迅速かつ的確な対応に努めるとともに、関係機関と連携して被害の未然防止のための啓発に取り組みます。						
	<b>政策の成果指標</b>	<b>単位</b>	<b>(初期値)</b>	<b>H30年度</b>	<b>R元年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>目標</b>
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	78.2	83.1	85.1	83.3	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合	%	52.1	56.2	54.2	58.9	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合	%	89.5	92.9	93.3	93.9	↗
	<b>経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</b>						
「消費生活相談事業」 消費生活相談件数	件	591	637	689	721	↘	

## 2. えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	①地域資源の発掘と活用 「観光振興計画推進事業」(観光振興課) 「えべつ観光協会支援事業」(観光振興課) 「江別アンテナショップGET'S管理運営事業」(観光振興課) ②農畜産物の高付加価値化 「都市と農村交流事業」(農業振興課) 「江別産農畜産物ブランディング事業」(農業振興課)
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

## 3. 経済部の資源

		実 績			予算額	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	2,012,549	2,040,160	2,546,362	2,230,977	2,293,098
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,012,549	2,040,160	2,546,362	2,230,977	2,293,098
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	30.00	32.20	32.00	32.00	31.00
	平均単価 (b)	7,627	7,687	7,629	7,602	7,768
	人件費 (a×b)	228,810	247,521	244,128	243,264	240,808
総 額		2,241,359	2,287,681	2,790,490	2,474,241	2,533,906